

「信濃教育」目次集

毎号に登載したものは、口絵「今、教師や子どもは」、本会の動き（前月号）、インフォメーション、編集後記

〔標 題〕

〔著者名〕

四月（一六一三号）

巻頭言 教師のくらし

巻頭言 新年度のスタートに当たって

令和三年度 事業計画概要 武田 育夫

△テーマ 子ども達が教えてくれたこと▽

子どもの姿に〈理〉を見いだす教師の省察的実践 吉永 紀子

ふたっぱいのお弁当 林 崇広

アサガオのたね 菅原 裕子

二枚しかない〜ことばに立ち止まる〜 丸山 秀樹

共に学ぶ教師を目指して 小林 順

言葉や表情で伝える大切さ 後藤 莉奈

信じて、任せる 瀧川 翔太

A児が教えてくれたこと 土橋 沙映

ポジティブでいること

心で感じる言葉

「先生、最近シート入るようになったね。」

大事にしたい心の持ち方

子ども「たち」ではなく、一人の人間として

今、未来のために

我以外皆我師

感謝の気持ち

姿の向こう側に

信じて任せる

前向きに、全力で

教師としての私

子ども達に寄り添い信じることの大切さ

Aくんと共に学ぶ中で自立活動をすすめる

小牧英里奈

柳澤 愛子

市川 清敏

藤松 ふみ

野口 裕太

加納 寛子

門井 誠

丸山 勇樹

田畑隆太郎

塩崎さおり

高田 梨香

加藤 愛菜

小林 京介

宮澤 岳夫

生徒との関わりから

だって、コロナだもの

信じるということ

生徒と関わりが持てる喜び

「みんなで乗りたい」舟作りから

教員になってよかった

広がる世界

一年間の歩み

子どもの絵を添えて

個を認め、共に考え、理解し合うこと

相撲を通じて生徒たちが教えてくれたこと

令和二年度「信濃教育」目次集

上村 裕一

畑中 美咲

上本 忍

水野 裕太

金澤真理子

高木ゆり恵

藤森 祥平

井上 奏

金澤 由佳

小野 優

宮原 恭子

五月（一六一四号）

巻頭言 「学び」のプロセス

巻頭言 今の時代だからこそ、学級集団づくり

育園 あいさつを楽しむ

藤本 光世

櫻井 範彰

を

△テーマ 私の「学級づくり」▽

学級は「授業」でつくる

「私、担任を続けます。」

自分だからできることがあると信じて…

「ただいま」と言って…

子どもつながる

学級経営 それは 愛

自分の学級経営を問い直す

私を育ててくれた子どもの言葉

私が大切にしていること

「何を言うか」ではなく「誰が言うか」

誰ひとりとして見捨てない

今、改めて思うこと

私の学級づくり〜友との関わりを通して〜

今の声

クラスについて

生徒と共に

子どもたちと一緒に学ぶ

初任の気持ち

学級づくりで大切にしていること

丸山 聖治

岸田 幸弘

小池 弥生

倉科 宗和

小林 由季

-3 73 17 345" data-label="Text">

平林 孝太

学級経営で大切にしていること  
「手のじかん」の活動を通して  
おもしろそうなこと やってみよう  
「みんな」で「みんな」を生かす場所  
調理活動の代わりに… アイディアで勝負！  
これまでの振り返って  
私の令和二年度学級  
思考力を高める学級経営〜読書やスピーチ、馬場トークを位置づけて〜  
一年間を振り返って  
自然の中で一年生とともに  
『とことん』取り組むこと  
川を遡う 水を遡う  
当時の記憶が今の自分を創る  
『存在を認める』ということ  
憧れの先生  
Let's enjoy English!  
不自由自在  
弱音を吐こう  
私と「信濃教育」  
み仏に導かれて 一児童養護施設 円福寺愛

田原 祐希  
林 幸子  
齊藤 芳樹  
白澤 英敏  
北原 牧子  
野木村 誠  
中澤 慎司  
馬場 裕介  
浦野 悠介  
藤巻真由美  
倉田 勝彦  
萩原 拓  
岩下 徹  
矢島幸太郎  
萩原 啓一  
青木 沙紀  
籾下 享士  
山崎 章裕  
水川 敏彦

育園  
あいさつを楽しむ  
「みんな」で「みんな」を生かす場所  
調理活動の代わりに… アイディアで勝負！  
これまでの振り返って  
私の令和二年度学級  
思考力を高める学級経営〜読書やスピーチ、馬場トークを位置づけて〜  
一年間を振り返って  
自然の中で一年生とともに  
『とことん』取り組むこと  
川を遡う 水を遡う  
当時の記憶が今の自分を創る  
『存在を認める』ということ  
憧れの先生  
Let's enjoy English!  
不自由自在  
弱音を吐こう  
私と「信濃教育」  
み仏に導かれて 一児童養護施設 円福寺愛

中野 邦彦 先生との思い出  
堀内 茜 プログラミング教育を楽しむ  
伊藤 幹高  
要領の悪い努力家と生徒がともにつくる授業  
共成長するために  
齊藤 竜士 小中連携を図り推進するプログラミング教育  
をめざして  
青木友佳里 半生 大澤 一仁 泥だんご作りとプログラミング教育  
子どもたち  
上原 景 忘れたころにやってくる 高瀬 賢一  
プログラミング教育がきっかけで私が考えたこと  
授業から得られること  
井出 尚也 コロナショックからコロナチャンスへ  
子どもから学ぶ省察的実践の可能性  
五味 和高

「資質・能力の育成を目指した学習」特別支  
松島 誠治 私と「信濃教育」  
上原 雄次  
援学校バージョン  
津澤 淳 み仏に導かれて 二 極地方式研究会(極地  
研)  
藤本 光世  
受け入れてつなげる  
吉澤 省吾 「車に積み込むもの」は…  
中村 恭之  
実践から学ぶ  
増田 啓佑 「車に積み込むもの」は…  
笑顔を未来を夢見て  
受け継がれしものは  
地域で生かされている子ども達  
出会いに感謝  
松井 建  
たつた一つ たつた一言  
柴 明子 七月(一六一六号)  
巻頭言 途中  
小泉 豊土 巻頭言 プログラミング教育の本質的意義を問  
い直す  
安藤 明伸  
変わらない『信濃教育』と変わりゆく私  
柳沢 奈美  
たつた一度の六年生  
み仏に導かれて 三 やさしく教えるという  
こと  
藤本 光世  
伊藤 靖徳  
病院にて

これまでの自分の授業を振り返って  
小泉 豊土 巻頭言 古畑任三郎  
藤本 光世  
八月(一六一七号)  
巻頭言 ザリガニ  
巻頭言 へき地や複式、小規模の学校における

コロナ禍での交流会  
佐藤 真紀 安藤 明伸  
仲間と共に学ぶ授業  
穂苅みずき  
△テーマ プログラミング教育の充実に向けて▽  
須田 英幸 プログラミング教育の充実に向けて、児童生  
徒の情報活用能力を育成する 佐藤 和紀  
異文化交流から芽生える小さな勇氣  
片桐 園子 プログラミングって何? よし、やってみよ  
う。  
戸島 雄司

生徒主体の学習を通して、読みを深める生徒  
たち  
亀子 明子 経験を積み重ねることで見えてくる  
原 知弘  
先輩に学ぶ  
塩澤 和也 プログラミングで人生を豊かに 桂本 憲一  
池田 拓真

教育の価値  
上野 耕史  
△テーマ 山間小規模校の取組に学ぶ▽  
土曜講座II  
異年齢集団による新たな学び  
基調提案  
異年齢集団による新たな学び  
伏木 久始  
シンプोजウム  
シンプोजスト 宮下智恵美 小林裕行  
巻頭言 資質・能力を育成する「対話的な学  
び」と教師力に  
田村 学  
道徳をどう解く? 指導と評価の一体化を通  
して、  
今につながる出会い  
暮らしを創ること  
私、頑張ってます  
一歩目  
父として、PTA会長として、  
子どもの心と意欲を耕す  
ふと思うこと  
私と『信濃教育』  
み仏に導かれて 五 教頭通信「田螺」  
藤本 光世  
村上きよみ

「学び合いの里 八坂」と共に歩む特色あ  
る小中一貫校に向けて▽  
大滝 仁 「探究する学び」と資質・能力の関係▽  
藤原 さと  
令和三年度 信教アフタヌーンセミナー  
△テーマ 小学校教科担任制の円滑な導入▽  
第一回  
秋田喜代美先生、本村栄次先生、武田育夫会  
長による鼎談▽小学校教科担任制におけるよ  
さと課題、これからのあり方▽  
秋田喜代美  
本村 栄次  
武田 育夫

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「学び合いの里 八坂」と共に歩む特色あ  
る小中一貫校に向けて▽  
大滝 仁 「探究する学び」と資質・能力の関係▽  
藤原 さと  
令和三年度 信教アフタヌーンセミナー  
△テーマ 小学校教科担任制の円滑な導入▽  
第一回  
秋田喜代美先生、本村栄次先生、武田育夫会  
長による鼎談▽小学校教科担任制におけるよ  
さと課題、これからのあり方▽  
秋田喜代美  
本村 栄次  
武田 育夫

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

「地域を知る」ということ  
神谷 充 野澤 友希  
子どもたちが主人公の学校づくり▽未来を切  
り拓く自立した学習者の育成▽  
福澤 善史  
主体的に学び続ける生徒の育成に向けた「創  
造」と「挑戦」  
石原 英樹  
子どもがまんなか 未来を拓く ひとづくり  
▽「信州池田町学びの郷 保小中15年プラ  
ン」の本格実施に向けて▽  
丸山 博  
果たして公立中学校は、子どもの学びを起点  
として変わり得るのか▽学びの環境・授業  
改善・授業評価の一体化への挑戦▽  
中原 功博

△特集 第三百三十五回 信濃教育会総集會

(オンデマンド開催)▽

第三百三十五回信濃教育会総集會(オンデマンド開催)のご挨拶  
武田 育夫

信濃教育会事務局

「子どもを育てる」学校から、「子どもが育つ」学校に〜いつもいつしよがあたりまえ〜  
木村 泰子  
教育会の意義や役割を考えるー信濃教育会と私ー

片桐 茂和 塚本麻衣子 竹内 優一  
久保田英雄 丸山 妙子

第二十四回教育研究論文・教育実践賞 特選論文

探究の連続が更なる学びを生む〜子どもの内発的探究心が学びのつながりをつくる〜

赤羽 綾子  
思いを込めた「汁」で伝える「和食」の良さ〜栄養教諭(食育・給食)や他教科との連携を図りながら〜

高陵中学校技術・家庭科研究グループ  
第二十四回教育研究論文・教育実践賞受賞者(特選・準特選・入選)

わたしの中の「あなた」

信じる

塚本麻衣子 水野 真澄

常に子どものことを考え、向き合う教師とは：準備を立ち止まる

竹村 和哉 唐澤 紗季  
森田ひろみ 高山 彩香

今の私にできること  
私は先生に向いていない  
見えないものを形に

比田井美栄 矢澤 拓真  
藤本 光世 井澤 昭

私のマナー  
講演記録 生涯学習センター  
信濃教育会「生涯学習講座」

「哲学へのいざないー「自己」とは何か」  
藤田 正勝

一月(一六二二号)

巻頭言 授業改善

巻頭提言「ICTの効果的な活用」の考え方を再考する  
堀田 龍也

△テーマ GIGAスクール構想〜ICTの効果的な活用を考える〜

一人一台端末による同時共同編集で拓く新たな学び  
村松 浩幸

閉会挨拶

担当郡市教育会長

松島ゆかり 片桐 茂和

める長野上水内教育会

教育会沿革史編集委員会  
長野上水内教育会

十一月(一六二〇号)

巻頭言 ずく

△特集 我が教育会の取組 No.2▽

信濃教育会にとって「二・四事件」とは何であったのか  
前田 一男

公益社団法人安曇野市教育会  
東西南北の風が吹く〜安曇野市教育会の取組〜

雑誌「信濃教育」

「我が教育会の取組」編集委員会  
安曇野市教育会

一般社団法人北安曇教育会  
北安曇教育会〜永きにわたり主体的に学び続ける教育会〜

北安曇「我が教育会」編集委員会

一般社団法人中野・下高井教育会  
受け継がれる深い郷土愛と教育への情熱

教育会の特色ある取組委員会  
中野・下高井教育会

一般社団法人長野上水内教育会  
「原点×転換×未来」次の十年にあゆみを進

「原点×転換×未来」次の十年にあゆみを進

一人一台端末の効果的な活用を目指した本校の取組

直江 将志 福澤 俊幸

学校生活を豊かにできるツールに

GIGAスクール元年〜本校での取組を振り返って〜

目的に向かう手段としてのICT活用〜授業デザインと研修デザインの視点から〜

北原 大介  
「新たな扉」を開く、GIGAスクールの取組

塚田 智紀  
「首学校とICT」〜障がい種を越えた活用の可能性〜

吉村 恒祐  
「未来の教室」実証事業の歩み〜GIGAスクールのその先に〜

小木曾一希  
子どもたちの可能性を引き出すICT機器の活用〜GIGAスクール先進地視察から見たこと〜

信濃教育会

ICT調査委員会

更埴 坂城中学校 柳沢 健  
一緒に歩んでいる大切な曲

伊藤 雅美  
読み聞かせがつなぐものを信じて

三澤 ゆり  
「仏様の指」のように  
昔の夢 今の夢  
「いま・ここ」

濱島 良太  
塩入菜由美  
熊谷 三枝

十二月(一六二一号)

巻頭言 道草

巻頭提言「共生社会の担い手を育む」をこれからの教育の合言葉にしませんかーインクルーシブな教育が子どもたちや教師にもたらすものー

久保山茂樹

△テーマ 共に学び合うインクルーシブな教育を求めて▽

主体性、多様性を生かす学校が日本の未来を変える  
高山 恵子

学校は未来の社会をつくる場所〜副学籍校の子どもの姿から〜

伊藤 香  
通級指導教室の担当として大切にしていきたいこと

田幸 康宏  
すべての生徒が生き生きと学び、成長できる学校にするために

山本 裕貴  
どの子どもも安心して学べる環境作りへの取り組み

塩尻市立塩尻西小学校 UD研究部会  
共に学び、どの子どもも輝く体育を目指して〜小規模校体育での実践から〜

山越 亮

マスターのカレーライス

鈴木 誠

あとでわかること

丸山 智義  
「信濃教育」に学ぶ

花村 純平  
み仏に導かれて 七 カンボジアの子どもたち

藤本 光世  
みんなでつなげよう五つの輪

松澤 徹  
講演記録 生涯学習センター  
信濃教育会・生涯学習講座「哲学の道」

「哲学へのいざないー「自己」とは何か」  
(2) 藤田 正勝

石井 英真

二月(一六二三号)

巻頭言 困難を乗り越える

巻頭提言 コロナの先の学校と学びの姿を展望する  
△特集 ポスト・コロナの学校を考える▽  
パンデミックの終息と終息後の教育

北村 義浩  
コロナ禍の閉校・開校とポスト・コロナの学校

山崎 吉治  
デジタルで広げ、リアルで深める学習  
「わくわく」という枠に何が書けるか

村松 晋  
久保田 敬

これからの特別支援教育におけるICTの利

活用

鶴田 恵市

三月（一六二四号）

巻頭言 別れの教育

マスク下の笑顔のために〜コロナ禍における  
人権的視点から〜

黒田 敏樹

巻頭言 学校における新型コロナウイルス感染  
症対策について（令和四年二月時点）

自らの学びを進めていく力を育てるために

高橋 廣貴

△テーマ 安全・安心な学校づくり▽  
学校は災害にどう備えるかー防災管理の工夫

After コロナの盲学校

藤澤 里美

コロナ禍二年目の取り組みとアフターコロ

小山 俊樹

子ども達の豊かな学校生活は止めない

廣内 大助

ナ

一歩先の学校における教育のDX（デジタル

トランスフォーメーション）

戸谷 良住  
『気づき・考え・行動する子どもの育成』  
五稜郭学習とJRCの精神でー長澤 永子

ポスト・コロナ 今、学校でできること

佐柳 美穂

中村 新治  
別支援教育でできること  
柳澤 徹

コロナ禍転じてプラスと為す

小池 心吾

実践的な防災教育 自ら考え行動できる子ど  
もをめざして  
宮川 史枝

コロナ禍の学校生活を通して見えてきたこ

北島 茂充

地域とともに創る防災教育「震災〜故郷への  
思い〜」のカリキュラム開発を通して  
伊藤 秀雄

With コロナの飯山養護学校

飯山養護学校職員チーム

あの出あいがあったからこそ、今がある  
樋口 力也

ポスト・コロナ〜進化を止めない学校に〜

大町市立八坂中学校

小林 美緒

子ども主体の「学びの場」となる新しい学校

小野澤 健

教員という仕事の魅力  
山崎 優哉

の姿を考える

小野澤 健

わたしの夢  
赤堀 聡

三つの生き方

赤堀 聡

五感の記憶

矢崎 薫子

「考動力」

湯本裕太郎

失敗や挫折から学べる環境作りを

山岸 史明

私と「信濃教育」

武居 敦子

閉校する学校を訪ねて

雑誌図書編集部 竹前 傳藏

雑誌図書編集部 塩尻市立木曾橋川小学校

塩尻市立橋川中学校

休校する学校を訪ねて

雑誌図書編集部 竹前 傳藏

雑誌図書編集部 王滝村立王滝中学校

塩尻市立橋川中学校

み仏に導かれて 八 み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸

み仏に導かれて

藤本 光世

雨の日に教えてもらったこと

畑 秀幸